

# さいたま市教組新聞

編集・発行/  
さいたま市  
教職員組合  
〒330-0843  
さいたま市大宮区  
吉敷町4-93-5  
大宮教育会館2F  
TEL 641-6763  
FAX 648-3567  
2017.7.27(木)  
No. 231

市教委交渉続報  
No.230の続き

## 「人事評価の賃金適用の平等化、 早急な多忙化解消、 代替者の未配置解消」 を求めて

### あなたは、 自分が昇給したことを ご存知ですか

市教組や多くの教職員が反対したにもかかわらず新しい人事評価制度がスタートしました。そんな中、まだ制度が確立していない昨年度の人事評価(埼玉県の形式)でも、その評価結果がすでに今年度の給与に反映されています。昨年度の校長による評価が、すでに今年、何人かに「特別昇給」として賃金に反映され、更に先日の夏のボーナスからは全員の教職員から0.01カ月分のお金がはがされ、それが何人かに配分されています。

市教委との交渉の際「人事評価で特別昇給を受けた人は自分が対象であるのか?」という組合の質問に対して、市教委側は「年度初めの辞令や(給与支給時の)個票から分かる」との返答でした。しかし個票には今年度の号給と金額のみが記載されているだけで、号給が上がったことは分かりません。辞令を配布する際にも校長は本人に特昇が分かるようにはっきり説明して渡していません。

「それはおかしいのではないか」との市教組側の指摘に対しては、「今までのさいたま市の方針がそうであった」とのことと、とうてい納得できないものではありませんで

「誰にでも昇給のチャンスがある」「誰もが対象になるように評価者(校長)に対して指導する」「(市教委の説明)と違うからには対象者にはつきり伝えるべきです。言うまでもなく、私たちの仕事はチームワークで成り立ちます。しかし、誰もが平等に昇給できる制度にするよう要求していきます。」

われはいます。そのため子どもたちとの触れ合いが減ってしまい、どうしても後回しになってしまいう教材研究や作品処理のために夜遅くまでの勤務を強いられるのがすべての職場での実態です。構造的な問題であり、これは学校レベルだけで解決できない状態であることとを訴えました。

市教委は、「多忙化解消検討委員会」を設置し、多忙化解消を進めているとのことですが、これこそ市教委側が指導性を発揮して問題を解決してほしい事柄です。県南部ではタイムカードを導入して在校時間を管理するシステムもスタートしているそうです。さいたま市も同様の対応を早急にす

「多忙化解消の早急な対策を」  
私たちは日々の教育活動に加え、子どもたちへの対応、さらに、対外行事の対応、出張、報告文書作成、研究委嘱、そのほかさまざまな公務に追

「誰にでも昇給のチャンスがある」「誰もが対象になるように評価者(校長)に対して指導する」「(市教委の説明)と違うからには対象者にはつきり伝えるべきです。言うまでもなく、私たちの仕事はチームワークで成り立ちます。しかし、誰もが平等に昇給できる制度にするよう要求していきます。」

「多忙化解消の早急な対策を」  
私たちは日々の教育活動に加え、子どもたちへの対応、さらに、対外行事の対応、出張、報告文書作成、研究委嘱、そのほかさまざまな公務に追

「多忙化解消の早急な対策を」  
私たちは日々の教育活動に加え、子どもたちへの対応、さらに、対外行事の対応、出張、報告文書作成、研究委嘱、そのほかさまざまな公務に追

「多忙化解消の早急な対策を」  
私たちは日々の教育活動に加え、子どもたちへの対応、さらに、対外行事の対応、出張、報告文書作成、研究委嘱、そのほかさまざまな公務に追

### 多すぎるアンケート

一昨年から突然実施された「よい授業」のアンケート。質問内容がその学級の子どもの実態、教師の意図を反映した内容になっておらず、まるで教師の小手先だけを評価するような「先生のつうしんぼ」になっているのでは、という指摘が寄せられています。さらにアンケート結果が人事評価に反映されてしまうのではないかとという心配の声もあります。

### 病休・産休・ 体育代替の 早急な配置 を

また、「心と生活のアンケート」も子どもたちの権利や命を守る観点からは大切ではあっても、同様の学校へのアンケート

トと重なったり、集計や短期間での面接と文書による結果の報告を絶えず求められるなど、現場は対応に追われています。生徒指導主任をはじめ、教科・領域の主任や学年・各担当にそれぞれ求められる調査も大変多く、多忙化に拍車をかけています。アンケート・調査報告の精選を求め、改善を強く迫りました。

病休などの代替配置は、市教委の責任のもと、早急に行われることが重要です。母体保護のために、職場に一人でも妊娠され

ている先生がいるときは体育代替が入ることを市教委は現場にどこまで周知徹底しているのでしょうか。

それぞれの職場で病休・産休が発生した時、その代替の職員はほとんどが職場の中での補充になっており、結果として垣外の先生や支援員さんが減っていくという、あつてはならない状況が多く職場で起こっています。校長が代替の人を捜しまわるのは本末転倒です。市教委はこのような職場の逼迫(ひっばく)した状況を感じ、学校任せにすることなく、緊急性がある時は市教委から人材を派遣するくらいの覚悟で問題解決にあたるべきであると強く要求しました。

第14回  
さいたま市母親大会  
2017年9月9日(土)  
9:30受付 10:00~16:00  
会場 さいたま市産業文化センター  
JR池袋線 与野本町駅徒歩6分  
JR京成東北線 与野駅西口徒歩15分

登壇 渡辺 繁博さん  
登壇 山田 賢士さん  
登壇 山田 賢士さん

いよいよ夏休み。忙しい勤務から少し解放され、ちょっとした旅行に出るのもいいですね。裏面の「『秩父因民党』最後の地を訪ねて」を参考に小旅行などいかがでしょう。

# 旅



## 「秩父困民党」最後の地を訪ねて

(小海線 馬流駅周辺)

あまり聞き慣れない駅名です。小海線の「馬流(まながし)駅」です。

な道歩いたかと思つとその労苦が偲ばれます。

ここは、7月1日付朝日新聞土曜版「みちものがたり」の「秩父困民党の進軍路(長野県)」という記事で紹介されていたので、思い立って行くことにしました。

実際に困民党の人たちが歩いた道をたどるため車を出しました。

寄居・長瀬をとおり、神流川を遡上するコースで十石峠をめざしました。秩父から志賀坂峠を越えてくる299号線が合流するあたりから道はほとんど狭く険しくなりました。雨模様だったので落石がこわい。車とはほとんどすれ違いません。秩父をめざした人、そして軍隊・警察の反撃に陣容立て直しのため信濃をめざした困民党がこ

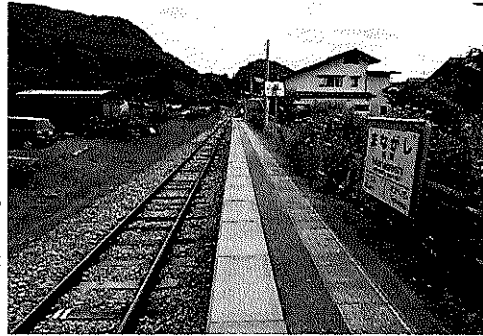


十石峠は思ったより開けた場所でした。展望台からは遠く赤城山系などが望めます。



峠を下り、馬流駅をめ

ざします。駅舎が見当たりません。やっと入り口を探し当て、細い道路を進むといきなりホームがあらわれます。改札がないのです。ホームの真ん中に待合室があるだけです。



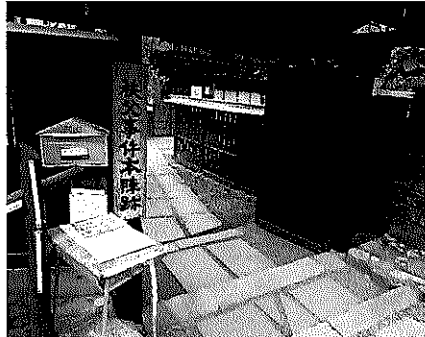
そのホームから歩いて2〜3分の所に諏訪神社があります。そのそばに「秩父暴徒戦死者之墓」があります。



菊地貫平の遺族によって昭和8年(1933)に建てられたのですが、当時は「秩父事件」とはいわず「秩父暴徒」といしは「秩父騒動」という犯罪的な呼称でしか書けませんでした。

戦後になって、この事件は、明治政府のデフレ政策によって生じた繭価の大暴落によって窮乏におちいった秩父の農民が、自由民権運動に指導のよりどころを求めて、困民党を結成し、借金の長期年賦償還などを誓願したが入れられず、ついに武装蜂起したものと、見方が改められています。その後は「秩父事件」の呼称になっています。

ここ信州の佐久地区は秩父との交流があり、同じように養蚕業も営み、共通の窮乏にあえていたことと、学者・僧侶などの知識層が昔から出ていた地区からか、自由民権の影響も受けていたところでもあったので、秩父事件に関係した人が多くでたのです。 駅のすぐそばに困民党の本陣となった井出家が



あります。「秩父事件本陣跡」の看板が掛かっています。当主の井出直太郎はここで酒屋を営んでおり、困民党を宿営させたとされています。この直太郎は諏訪神社そばのお墓の揮毫(きぎょう)をしています。

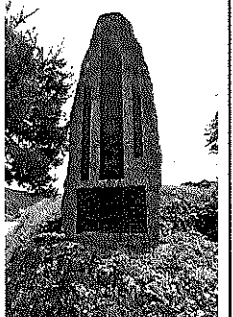
さて、もと来た佐久甲州街道を北に戻った「東(ひがし)馬流」という所に、「天狗岩」という小山が現れてきました。ここは、秩父から転戦してきた困民党が官兵と最



後の激戦をくりひろげたところ(明治17年)です。 (明治17年) 《1884》



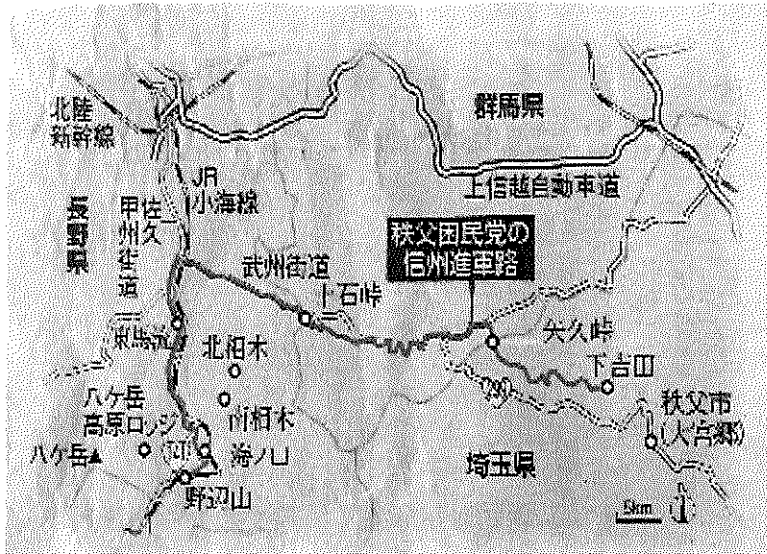
この岩を見上げると、ここに「困民党散華之地」



という碑と北相木村出身の「菊地貫平」と「井出為吉」の像が建っていました。事件から100周年に建てられたものです。 困民党の一部は八ヶ岳の野辺山原へと逃げ、そこで散り散りになったとい



まきりと残されていきました。そのことに感慨深いものを感じた小旅行でした。



地図は、7/1朝日新聞土曜版「みちものがたり」より

【参考資料】朝日新聞土曜版「みちものがたり」(2017年7月1日付) 佐久からみた秩父事件 (小海町教育委員会編)